

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団

内容
限定配信のワークショップ映像を鑑賞いただきます。 【小学校・中学校（約30～45分）】 ●ミニコンサート 楽器紹介～弦楽器・管楽器・打楽器～ ♪アンサンブル ●日本の歌を歌おう！ ♪日本唱歌より ●音楽を身体で体感しよう！ ♪ボディパーカッション ♪服部正：ラジオ体操第一 ●ボディパーカッションで「運命」を表現しよう！ ♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」冒頭部

タイムスケジュール（標準）
各学校のご都合で鑑賞いただきます。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
なし

学校における事前指導
【小学校・中学校】 特になし

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団

演目
【小学校・中学校（約90分）】 *=共演曲コーナー ＜オープニング＞ ♪アンダーソン：舞踏会の美女 ＜楽器紹介＞ ♪弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器とオーケストラを4つのグループに分け、各楽器・グループの仕組みと音を聴いて頂きます。 ＜指揮体験＞ ♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 冒頭部 ＜オーケストラと身体を動かしてみよう！＞* ♪小さな世界 ♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章抜粋 ＜日本唱歌を歌ってみよう！＞ ♪日本唱歌より* ♪校歌（オーケストラ伴奏）* ＜オーケストラの名曲を聴いてみよう！＞*以下より1曲選択 ♪ロジャース：サウンド・オブ・ミュージックより ♪ムソルグスキー：展覧会の絵 ♪ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」から第4楽章 Enc. ♪J.シュトラウスⅠ：ラデツキー行進曲

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
指揮者：1名、ボディパーカッション&司会：1名 オーケストラ：21名 ステージスタッフ：2～3名、事務局：1～2名

タイムスケジュール（標準）
公演開始時間：14：00 開演の場合 09：00～ 体育館へ搬入・仕込み・リハーサル準備（所要時間約2時間） 11：00～ 会場リハーサル（所要時間約30～60分） 12：00～ 進行打合せ等 14：00～ 開演 15：30頃 終演 17：30頃 撤収予定

実施校への協力依頼人員

公演前後の会場設営（出演者及び関係者の椅子等の学校備品の消毒、MC用マイク3本、冬期暖房手配など）
2～5名程度で可能なお手伝いをお願い致します。

演目解説

本公演プログラムは、日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。「アンダーソン：舞踏会の美女」をはじめとした、TV・CM、ラジオなど日常生活で一度は耳にした事がある曲目を演奏する事により、クラシックへの興味を促します。

耳馴染みの曲目が実はクラシックだった！事を知って頂いた次は、オーケストラ全体を4つのグループ（弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器）に分け、各楽器の仕組みや音色を細分化して紹介。

楽器だけでなく、指揮者の存在にも注目し、児童・生徒に実際にオーケストラを指揮して頂く、「指揮体験コーナー」を設ける事で、音楽や演奏家の“呼吸”を肌身で体感してもらいます。指揮者の違いで奏でる音楽に違いがあるのか？会場の児童・生徒皆で音楽により興味を持って頂けるように工夫しております。

共演コーナーでは、楽器ではない皆が持っている感覚に着目。ボディパーカッション（身体表現）により、音楽への新しいアプローチを提案します。

ボディパーカッションでは、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」という名曲を生徒・先生・オーケストラ・指導者と会場全員の参加型として今までにない体験を提供し、児童・生徒の自己表現力、共同作業によるコミュニケーション能力と協調性を育むことを目指します。

また、日本の唱歌を用いて美しい日本語を通じ言葉の力を育むと共に、音楽の魅力を再発見して頂きます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

●ボディパーカッション

取っ付きづらいと思われるがちなクラシックに身体表現を付ける事で、音楽を自然に身につける感覚を体験して頂きます。名曲ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」に振りをつけ、曲に合わせて参加して頂きます。

●合唱参加（唱歌）

歌詞朗読等を通じて歌詞の内容理解を深めて頂きます。本公演ではその歌詞をオーケストラの演奏に合わせて歌って頂きます。

歌唱が難しい場合は、鑑賞もしくは他の演目に差し替える等、対応します。

児童生徒とのふれあい

共演コーナーなど、児童・生徒も一緒に演奏に参加する部分（ボディパーカッションなど）では、オーケストラの奏者も演奏だけではなく、児童・生徒の隣に肩を並べながら参加します。

歌詞朗読の作業では、児童・生徒と一緒に想像の手助けをしながら歌詞の内容理解の作業を進めます。

学校からの要望があれば、別途楽器の練習指導など開催を検討致します。